

数学科教育 実技・理論研修会 終了報告

テーマ	数学的活動を促す授業とその評価	
日時	平成28年 7月 15日 (金)	
会場	江別市立大麻中学校	
講師	山崎 浩二 氏 (岩手大学 数学教育 教授)	
参加者	20名	
研修会 の 様子		山崎氏による2年生に対する「出前授業」ピラミッド型に並んだ2つ数列から規則性を見つけ出し、それが「いつでも」「必ず」「絶対に」成り立つかを、文字を用いて説明する学習を行った。
		ひとりひとりがしっかり理解しているかを丁寧に確認しながら、また、それぞれの考えを大切に、とりあげながら授業は進んだ。
		生徒の目的意識を高めるよう、課題の設定や発問を意図的に仕組んでいた。また、さらにその意識を高めていくような発問、「本当にそうなの?」「どうしてそうなの?」と問いかけていた。
		講演会は、「数学的活動を促す授業とその評価」というテーマで行った。数学的活動の捉え方やチェックポイント、課題の設定等、どのように意識していくのかなど、わかりやすく説明があった。
		事例を紹介しながらの講演は参加者にもわかりやすく、真剣な表情が多かった。